

大竹市指定重要文化財

民俗資料 大歳神社の力量石

りきりようせき

所在地 大竹市玖波五丁目八番五号

指定年月日 平成三十年三月二十八日

大歳神社の力量石は、昭和五十四年に枕崎台風（昭和二十年九月）により倒壊した鳥居の再建工事中に発見された花崗岩の自然石である。草相撲で角ヶ崎^{かどがさき}の四股名を持つ中井直松が、恵川から抱え上げたといわれており、「力量石 量目七拾八貫目 角ヶ崎直松建之 明治廿三稔（二十三年）第三月 當（当）年二十四歳」文字が刻まれている。この石は、江戸時代から昭和初期頃まで日本各地で、力比べや、力試しに持ち上げた力石であり、特に大きい石には力量石のように名前が付けられている。こうした風俗習慣は、すでに忘れ去られており、当時の人々の生活文化を知ろうえで貴重な資料である。

大竹市教育委員会